

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
子ども家庭福祉 Child and Family Welfare		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	必修	岩城 淳	
概要				
<p>児童家庭福祉の意義や役割、児童家庭福祉関係法制度と児童家庭福祉サービスを理解するとともに、保育士として子育て支援に関わる際に、児童家庭福祉サービスを活用できることをねらいとし、保育士に必要な知識や技術を解説する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 児童家庭福祉の歴史、意義、理念について説明することができる。 (2) 児童家庭福祉の法制度、行政組織、児童福祉施設とその従事者の役割について説明できる。 (3) 児童家庭福祉の今日的課題に対して、自分の考えや意見を述べることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 現代社会と児童家庭福祉 –オリエンテーション– 2 児童家庭福祉の理念と概念 3 児童福祉の歴史① –日本の場合– 4 児童福祉の歴史② –諸外国の場合– 5 児童家庭福祉と保育 6 児童家庭福祉の制度と法体系 7 児童家庭福祉の行政組織 8 児童福祉施設等について 9 児童福祉施設等で働く人びと 10 児童家庭福祉の現状と課題① –子育て支援サービス– 11 児童家庭福祉の現状と課題② –母子保健と児童の健全育成– 12 児童家庭福祉の現状と課題③ –児童虐待・ドメスティックバイオレンスへの対応– 13 児童家庭福祉の現状と課題④ –社会的養護– 14 児童家庭福祉の現状と課題⑤ –障がいのある児童への対応– 15 これからの児童家庭福祉 				
テキストおよび 参 考 文 献	配布資料			
メ ッ セ ー ジ な	<p>毎回、A4 サイズの資料を配布予定であるので、資料を保管するためのクリアファイル等を用意することが望ましいです。基本的には講義形式で行いますが、施設見学、視聴覚資料の活用、ディスカッションの場を随時設け、学びを深めていきたいと思っております。</p> <p>保育士証：必修科目</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 児童家庭福祉の歴史、意義、理念について説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	30%
(2) 児童家庭福祉の法制度、行政組織、児童福祉施設とその従事者の役割について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	30%
(3) 児童家庭福祉の今日的課題に対して、自分の考えや意見を述べることができる。	児童家庭福祉の現状と課題を正しく認識し、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	児童家庭福祉の現状と課題への認識の誤りや大きな論理的な問題もなく、自分の考えを述べている。	児童家庭福祉の現状と課題に対する認識の間違いがいくつかあり、誤字・脱字もあるが、最低限の自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。	課題レポート（関心・意欲・思考力・判断力）	40%